

奨励賞

官公庁舎(劇場)／長野県中野市

中野市市民会館 ソノラホール

設計担当者



仙田 満

(株)環境デザイン研究所



宮本夏樹

(株)宮本忠長建築設計事務所



金箱温春

(有)金箱構造設計事務所

共同設計者

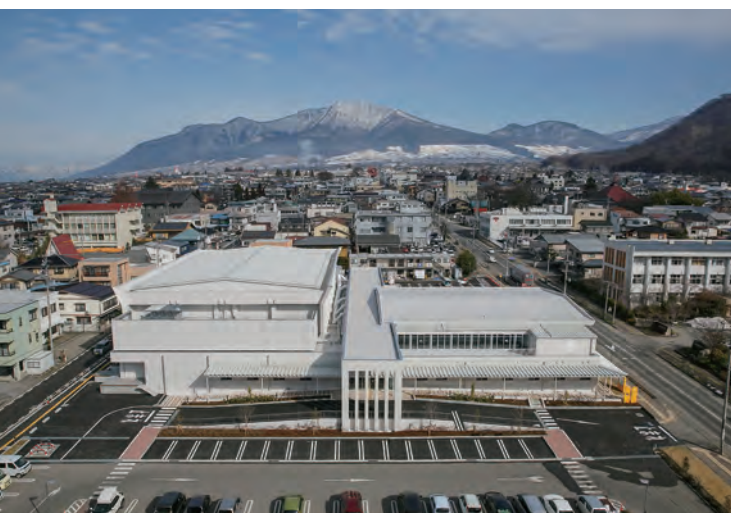
村田博道

(株)森村設計

小口恵司

(株)永田音響設計

構造	鉄骨造(増築部)・ 鉄筋コンクリート造(既存部)
階数	地下1階、地上3階
敷地面積	1,412.32㎡
建築面積	3,079.32㎡
延べ面積	3,980.58㎡(改修部2,924.15㎡、 新築部1,056.43㎡)
竣工年	令和6年(耐震改修工事竣工年月)



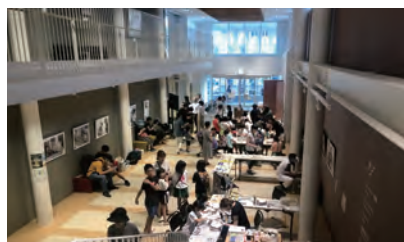
全景



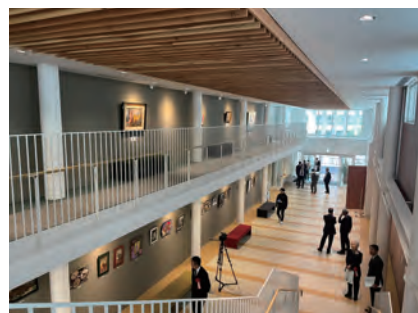
大ホール 正面



大ホール 市民イベント



市民創造回廊 イベント時



市民創造回廊



夕景



ホール 正面



小ホールイベント 平土間形式

選評

1969(昭和44)年に竣工した市民会館をリノベーションし、機能が充実した市民会館として蘇らせた建物。東側にあった会議室棟を多目的ホールを中心とする形に変更し、西側の大ホールのある棟との間に、新たに南北に連なる廊下状のアプローチ棟を設け、東西の棟をつなぐ形としている。これらの変更によって、施設としての利便性が増しただけでなく、南にある市役所をはじめとした周辺施設との関係も良くなっている。西側の棟では、大ホール上部の屋根面を強化することやホワイエ部分の躯体にバットレス状の補強を行うこと等で、内部空間への影響を最

小限にとどめた手際よく工夫された耐震補強が行われている。こうした構造補強に加え、限られたスペースを使った設備の挿入等が行われているが、それらは現場施工によるきめ細かな対応の結果であり、地元設計事務所による迅速で手慣れた施工者との連絡調整が、その実現に繋がっている。計画や補強等の面で優れた案を出せる大都市部の設計者と、実務において秀でた地域の優れた設計者の共同作業が、大規模施設の大規模リノベーションの成功につながることを示す模範例ともいえ、本会の奨励賞とするにふさわしい作品といえる。(後藤 治)